

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 吉原 孝彦  
幹事 出口 達也  
会報委員長 佐野 彰彦

2017 ~ 2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

## 第3013回例会プログラム

[当年度=39回目; 当月=2週目]

2018年(平成30年) 6月11日(月)

## 1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………我等の生業  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 退会会員挨拶……………山内 得次 会員  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(6/18) ……  
クラブ協議会  
現理事挨拶  
(6/25) ……  
夕食例会(親睦活動委員会)  
17:30~刈谷商工会議所 2階ホール

## 2. クラブ協議会……………〈司会: 幹事〉

- 13:00 1. 刈谷ロータリークラブ細則・内規について  
……………会長  
2. 次年度方針の発表……………次年度会長  
3. 次年度委員会別事業計画の検討  
……………次年度幹事

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

14. 点鐘……………〈会長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

## 出席

会員総数 97名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名  
欠席 7名 出席率 92.05%  
前々回(5/28)の修正出席率 100%

## 幹事報告

- 1) 本日例会終了後、現次年度合同理事・役員・委員長会議を開催致します。関係の会員はご参集よろしくお願い致します。

## 会長あいさつ

## 細則と申し合せ事項

吉原 孝彦



本日クラブ協議会にて刈谷ロータリークラブ細則を上程いたします。ロータリークラブにはRI作成のクラブ標準定款とクラブ推奨細則があります。我がクラブには申し合せ事項はあっても推奨細則を準用す

ることにより自前の細則は有りませんでした。細則とは定款をもう少し細やかに取り決めたものであり、申し合せ事項は皆で相談した合意事項ということで意味が違います。2016年の規定審議会での大きな変更と来年度刈谷ロータリークラブ創立65周年を機に、クラブとして変わっていくもの、変わってはいけないものをしっかりとわきまえて細則を作る決断をしました。これが出来れば

毎年申し合せ事項を決議する必要もなくなります。

ロータリークラブの定款・細則が最初に出来たのは1906年1月で、①会員の職業上の利益の増進②親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進で。その年のうちに③シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠を鼓舞すること、が加えられました。細則は有りませんでした。

当初出来た16のクラブはシカゴクラブの定款・細則を使っていたのですが、全クラブを拘束する標準的な定款の必要性を感じ、1912年にクラブの模範定款・細則が採択されました。しかし模範定款だったため、クラブ300に対し300の定款が出来てしまったので、1915年に現在の元となる標準クラブ定款と模範クラブ細則が採用され、1916年から義務付けされました。

さて、定款の適用に際し団体として異色なところがあります。グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー機構（RIBI）は1914年に国際連合会の一環として設立されました。大戦後の1922年、新しい国際ロータリーの定款が採択され、「テリトリー・ユニット」というものが採択され、RIBIのグループだけが申請し、採用されました。1927年にこの概念を廃止しましたが、「現存のテリトリー・ユニットの持っている権利、特権、及び権限」はすべて保護し、永続させることになりました。従ってRIBIはRI定款による決まった承認を前提に、国際ロータリーの独立した単位として機能し続けています。

## 次年度方針の発表

### 不易流行

2018～19年度会長 鈴木文三郎



1954年3月8日、石田退三初代会長はじめ24名のチャーターメンバーによって、刈谷ロータリークラブは創立されました。3月30日には愛知県で8番目、日本で118番目のクラブとして、国際ロータリーの加盟承認を取得しました。

爾来65年間、先輩各位のたゆまぬロータリー奉仕活動の実践によって、刈谷ロータリークラブは自他ともに認める伝統と品格あるクラブとして、地域社会にそして世界に貢献して参りました。

刈谷ロータリークラブ創立65周年の会長をお引き受けするにあたって、クラブの伝統の良いところを継承しつつ、時代に合わせて変化すべきところは、しなやかに変えていきたいと思えます。

本年度の国際ロータリー会長、バハマ出身のバリー・ラシン氏はテーマを“BE THE INSPIRATION”「インスピレーションになろう」としています。直訳するとわかりにくい表現ですが、私なりにラシン会長の国際協議会でのテーマ講演録などを読んで解釈すると、「良い刺激をまわりに与える存在になろう そして地域社会を、世界を良くしていこう」とおっしゃっているのではないのでしょうか。

もう少し言い換えると「ロータリアン個人として、また地域のロータリークラブとして起こす行動が刺激となって、まわりの人々をそして地域社会を少しずつ良い方向に変えていこう。それが世界中に広がって、より良い世界にしていこう。」となります。この国際ロータリー会長方針を、刈谷ロータリー流のやり方で実践して行くではありませんか。

クラブの品格の高さや派閥の無い伝統の良さは継承しつつ、奉仕の手法については前例の踏襲に終わることなく、クラブ内にも刺激となり、地域社会に対しても刺激になるような活動を周年事業および各委員会の事業で展開していきたいと思えます。

会員各位の絶大なるご指導、ご協力をお願いして会長所信といたします。

2018～2019年度 バリー・ラシン 国際ロータリー会長テーマ  
BE THE INSPIRATION  
インスピレーションになろう

2018～2019年度 村井聡一郎 第2760地区ガバナー  
地区活動方針

『あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！』  
ーロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしようー

## 2018～2019年度 鈴木文三郎会長 運営方針

国際ロータリー会長のテーマ、地区ガバナーの方針に則り、以下の運営方針を掲げます

1. 創立65周年記念事業として刈谷市においてロータリーデーとしての社会奉仕事業を実施する（地区補助金事業）
2. 創立65周年記念事業としてタイにおいて国際奉仕事業を実施する
3. 創立65周年記念事業として会員間の親睦事業を実施する
4. 西三河分区内の他クラブ例会への入会3年未満会員の参加促進
5. 工夫した例会の開催（観劇家族例会、職場例会、クリスマス家族会含む）
6. WFF への参加等を通じたポリオ撲滅への貢献
7. 会員増強と維持
8. ロータリー財団、米山記念奨学会への寄与
9. マイロータリーの登録促進とクラブセントラルの活用
10. マスメディアおよびソーシャルメディアの活用による公共イメージの向上

## IV 次年度議題

1. 7月・8月のプログラム（案）について  
〈次年度クラブ奉仕委員長〉  
〈次年度プログラム委員長〉
2. 観劇家族例会について  
〈次年度フェロシップ委員長〉
3. わんさか祭り協賛について  
〈次年度社会奉仕委員長〉
4. ひかりの家バザーに対する後援について  
〈次年度社会奉仕委員長〉
5. 報道関係者との懇談会について  
〈次年度公共イメージ向上委員長〉
6. 一般会計予算（案）について  
〈幹 事〉
7. その他

## V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ

### 退会会員あいさつ



山内 得次 会員

### 当年度及次年度合同理事・役員・委員長会議次第

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 次年度会長挨拶 〈次年度会長〉
- III 当年度議題  
1. 年次報告書について  
〈幹 事〉  
2. その他